

# 水害に備える



台風 21 号（平成 29 年）により冠水した道路。夜間ということもあり、足元が見えず非常に危険な状態です。

田原本町はこれまで昭和 57 年、平成 29 年の台風などで大きな被害を受けました。また、令和 5 年 6 月 2 日の大雨では各地の河川が増水し道路冠水などが発生しました。

このように、自然災害・水害はいつ発生してもおかしくありません。そのため、日ごろから災害に備え、対策を考えておくことが命を守ることにつながります。水害に対する町や地域の取り組みのほか、家庭でできる取り組みを紹介します。

☎ 防災課 34・2059

## 町の取り組み

町では、これまでの水害を受け、さまざまな対策に取り組んでいます。社会福祉協議会駐車場の地下に設置している雨水貯留施設もその一つであり、奈良県主導で奈良県平成緊急内水対策事業が発足され、県や国の手厚い支援をいただき、第 1 号で着工しました。そのほかの箇所についても貯留施設整備を進めており、早期に被害が軽減できるよう整備工事を進めています。

## 地域の取り組み

地域単位での水害対策として、自主防災組織を設立されているところもあります。

自主防災組織とは、自治会などで

地域住民が協力して「自分たちのまちは自分たちで守る」ことを目的に、自助・共助の考えのもと互いに助け合い、自主的に防災活動を行う組織です。地域で相互に協力し、減災につながる共助の中核を担っています。令和 5 年時点で 79 団体が結成されています。

町では自主防災組織の設立、取り組みについて支援（資器材購入の助成など）を行っています。詳しくは防災課へお問い合わせください。



自主防災組織の活動例



自主防災組織を設立しましょう

## 家庭での取り組み

水害への対策を進めておりますが、完全に水害を防ぐことはできません。実際に水害が発生した時に冷静に行動するためには、普段から家庭で水害について考えておくことが必要です。次のページからは家庭でできる対策をまとめています。実際に水害が発生した時に冷静に行動できるように、前もって取り組んでみてください。

# 家庭でできる水害への備え

## マイ・タイムラインの作成

「マイ・タイムライン」とは、水害に備えて事前に自分のとるべき行動を整理し、時間軸にまとめたオリジナルの避難行動計画です。家族構成や生活環境に応じて「いつ」「どこに逃げるか」「どのタイミングで」「どこに逃げるか」が明確となり、いざという時にあわてず行動することが出来ます。町のホームページで様式をダウンロードできますので、家族で相談しながら作成してみてください。



「マイ・タイムライン」を作ってみましょう！

## ハザードマップの活用

田原本町総合防災マップでは、町内の最大浸水想定区域を示した洪水ハザードマップを掲載しています。自宅や学校、職場など自分が生活する地域について事前に確認しておきましょう。ほかにも災害時の情報収集方法や非常持ち出し品・非常備蓄品について、避難時の心得、避難所情報など防災・避難のための情報を掲載していますので、ご活用ください。



※令和3年5月から「避難勧告」が廃止され「避難指示」へと変更されました。あわせて田原本町総合防災マップ7ページ「町役場からの呼びかけと、とるべき行動」の表に一部変更があります。



## 災害時の情報収集

災害が発生したとき、または発生しそうなときなどは、災害状況や避難所などの情報収集が必要です。テレビやラジオのほか、さまざまなサービスがありますので、ご活用ください。

### 防災無線

町内46カ所に設置された屋外拡声子局から、防災情報を発信します。**▼防災無線放送専用ダイヤル**  
放送が聞こえなかった場合や再度確認したい場合は、次の電話番号で直前の放送内容を確認できます。  
☎0120・32・6201  
(24時間自動応答、通話料無料)

### 災害電話サービス

防災無線の内容が聞き取りにくい人や、聴覚障がいのある人にも確認しやすいよう、無線の内容を固定電話やFAXに伝達するサービスです。利用には事前登録が必要です。町ホームページをご覧ください。か、防災課へお問い合わせください。



### 緊急速報メール エリアメール

気象庁から送られる「緊急地震速報」や、町から送られる「災害・避難情報」を、町内の携帯電話やスマートフォンに対して一斉に配信します。事前登録などの手続きや月額使用料などは不要で、町内にいれば町外から通勤・通学している人も受信できます。

### 防災アプリ・町公式LINE

災害・防災情報アプリを使用すると素早く情報が手に入ります。いざというときに備え、使いやすいアプリを探しておきましょう。町では田原本町公式LINEで気象・地震・台風・避難情報などの防



## 避難所の確認

避難所の位置を事前に確認しておくことも重要です。しかし、水害時に必ず避難所へ行かなければいけないわけではありません。安全な場所であれば、知人・親類の家や、自宅の安全な部屋(浸水する深さよりも高い部屋)に避難することも考えられます。水がひくまで避難できる場所を確認しましょう。また、避難に備え飲料水や食料を準備しておきましょう。

### 福祉避難所

- ・特別養護老人ホーム田原本園
- ・介護老人保健施設サンライフ田原本
- ・ふれあいセンター
- ・特別養護老人ホームしきの郷
- ・介護老人保健施設めぐもり田原本
- ・なら桜桃会 第二作業所
- ・特別養護老人ホームめぐもり磯城



## INTERVIEW

### 自らの命を守る意識を

水害への対応について、磯城消防署警防課長の北脇康幹さんにお話を伺いました。

平成4年から消防職員として働いており、奈良県内外の水害救助活動に出動してきました。そしてその度に、水の力の大きさと恐ろしさを感じています。水害が発生したときのために「いざというときはそれぞれが自らの命を守る」ということを意識し、日ごろから準備しておくことが大切です。ニュースなどで水害を知ったとき、それを自分のこととして捉えて「田原本町でこれが発生したらどうするか」と考えてみてください。

### 臨機応変な行動を

ハザードマップを確認し、避難経路を考えておくことは大事です。しかし、田原本町は河川が多く、浸水が想定される区域も少なくありません。そのため、浸水により事前に想定していた避難経路が使えなくなるおそれがあります。避難経路を複数考えておくこと、正確な情報入手し臨機応変に行動することが重要です。

### 冷静な行動が命を守る

もし避難が間に合わず家に取り残



奈良県広域消防組合 磯城消防署警防課長 北脇 康幹 さん